

令和元年度企業版ふるさと納税を活用した事業の概要

事業名：「ひとづくり」を核とした持続可能な地域づくりプロジェクト

1. プロジェクトの内容

(1) ブックファースト（本がきっかけ、本が一番）事業



「本」を核として、乳幼児からの本に親しむ環境づくりや「学校図書館」を活用した授業を充実させることで、子どもたちの言語環境の充実と、児童生徒の学力向上を目指し、「ここで育てたい」と思う子育て世代のU I ターン者を増やす。

(2) 学校を核とした子育て充実事業



学校を拠点として、地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、地域ぐるみでの子育てを充実させることで、「ここで子育てしたい」と思う子育て世代のU I ターン者を増やす。

(3) 関係人口拡大事業



首都圏等の大学との継続的な交流事業や県外高校の修学旅行受入れを通して、地域住民との交流を拡大するとともに、他県出身の高校生の地域活動を充実させることで、「関係人口」の拡大と深化を図り、若者のIターンにつなげる。

2. 令和元年度の取組み

(1) ブックファースト（本がきっかけ、本が一番）事業

事業内容	<p>① 乳幼児健診等での絵本贈呈 乳幼児健診（4か月、2歳6か月）において保護者対象の読み聞かせ実習や、読み聞かせ用の絵本のプレゼントを実施した。</p> <p>② 読書フェスティバル等の開催 図書館ボランティア団体等が、親子対象に読書フェスティバルやお話会、読み聞かせ研修会等を開催した。</p>
------	--

	<p>③ 調べ学習用図書の購入及び学校への配送サービス 市立図書館に調べ学習用図書を設置し、小中学校への図書の配送サービスを実施した。</p>
成果等	<p>① 絵本贈呈(2月末時点) 4か月健診：256人 2歳6か月健診：283人</p> <p>② 読書フェスティバルの開催 開催日：8/4 場所：グラントワ、市立図書館 参加者：2,500人</p> <p>③ 学校への配送サービス(2月末) 配送回数：166回(前年31回) 利用冊数：3,979冊(前年877冊)</p>
今後の事業展開	<p>①乳幼児への絵本の贈呈、保護者対象の読み聞かせ実習を引き続き行う。</p> <p>②読書フェスティバルを6月28日(予定)に開催する。</p> <p>③引き続き市立図書館の図書の学校への配送サービスを行う。</p>



読書フェスティバルの様子



乳幼児健診での読み聞かせの様子

(2) 学校を核とした子育て充実事業

事業内容	<p>① コミュニティ・スクールの導入・促進 市内の小中学校での、地域とともにある学校づくり、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の活動充実と新規導入を目指し、学校外の活動の中で子どもたちが活動したり、多様な大人と関わる場の充実を図るとともに、受け入れ側となる、地域の大人の機運の醸成とスキルの向上のための取り組みを行った。</p> <p>② 社会に開かれた教育課程の実現 小学校校長会「地域連携プロジェクト」に参加し、未来の担い手を育てるための、学校と地域が連携・協働のあり方の研修(3回開催、参加者各8人)を行った。また、小学校校長会メンバーは関東への先進校研修視察を行った。</p> <p>③ 次世代育成コーディネーターの配置 地域全体での子育て環境を充実させるために、モデル的に市内3地区(吉田地区、安田地区、豊田・西益田地区)に次世代育成コ</p>
------	--

	<p>ーディネーターを配置し、地域における子どもの体験及び学習の場づくり並びに多様な大人との交流を行った。</p>
成果等	<p>○匹見小中学校合同の学校運営協議会設立により、小学校中学校が一貫したコミュニティースクールの運営がスタートした。小中が共通の視点での「学校評価シート」を作成し、学校関係者評価を行った。</p> <p>○コミュニティー・スクールの導入・促進を目的に実施された学校外活動の実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国コミュニティー・スクール研究大会（8/2） ・つろうて子育て研修会（9/13、12/13） ・益田・吉田・高津ブロック主事研修会（9/30） ・益田市PTA連合会研修大会（10/26） ・公民館主事等研修会（12/11） ・匹見小中学校合同授業（2/1） <p>⇒学校での学びを起点とし、学校外活動での実践が増加したことで、「学校で学びを深め、さらなる実践の場については地域社会で実践していき、それがまた学校教育の場で活かされるという往還」の事例が促進された。</p>
今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・匹見小中を小中一貫教育指定校とし、9年間の義務教育を通して、地域と学校の連携したカリキュラムのあり方を探る。また、学校教育と社会教育が連携し、中規模以上の小学校の地域での学校運営協議会の設立を目指す。 ・把握できていない地区の取り組みや価値の掘り起こしに取り組み、学校を拠点として、地域に開かれた学校づくりを推進する。また、「学校の学びと地域の実践の往還」から「日常化や長期休業中の継続的な取り組み」の充実へと繋げたい。



コミュニティー・スクール
（匹見小中学校合同授業）の様子

(3) 関係人口拡大事業

事業内容	<p>① 大学生等のフィールドワークの推進</p> <p>交流人口の拡大と、市外大学生と益田市の様々な人との交流を通じ、地域の活性化につなげることを目的として、益田市において観光振興や特産品開発、定住対策等の地域課題に関するフィールドワークを行う市外の大学生等に対し、交通費、宿泊費等の支援を行った。</p>

市外大学生と市民との交流

	<p>② 県外高校生等の修学旅行の体験受入れの推進</p> <p>県外高校生をターゲットに、修学旅行生の受入れを促進するため、体験や交流を重視した修学旅行プログラムを造成し、市内での体験受入先の開拓、コーディネート、広報活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香港又はタイからの益田市への体験教育旅行のプロモーション等の業務委託 ・ MASUDA no Hito Tabi (平成 30 年 3 月から公開している、体験型修学旅行プログラムの PR のための WEB ページ) のパンフレット版の作成 ・ 県外高校生の修学旅行の受入れ <p>③ 私立高校の地域活動の促進</p> <p>県外出身者が多数在籍する市内の私立高等学校に対して、高校生活だけでなく地域活動等を充実させることによって「関係人口」の拡大と深化を目指すための支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 益田東高等学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き教室をリノベーションし、「地域交流室」を整備。 ・ 地域交流室を活用し、益田「中世の食」再現プロジェクト（戦国時代に、当時の益田地域を治めていた益田藤兼・元祥親子が、毛利元就を迎えて祝宴を催した際の料理を、当時の資料をもとに再現するプロジェクト）との協働。 ○ 明誠高等学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生による地域の食と文化に関する調査結果を踏まえ、「まちと食卓」を制作。 ・ 制作した「まちと食卓」を活用した学校外活動の実施。
<p>成果等</p>	<p>① 大学生等のフィールドワークの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実績：計 54 名（東洋大学、広島大学、東京農業大学、川村学園女子大学等、11 の大学の学生） <p>② 県外高校生等の修学旅行の体験受入れの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MASUDA no Hito Tabi パンフレット版での PR により、参加者へ体験メニュー等の売り込みを実施（7/3～4、10/27 受入れ先企業等：11 社、参加者数計 92 名） ・ 京都府立清明高等学校修学旅行の受入れ（7/3～5 72 名） <p>③ 私立高校の地域活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 益田東高校： <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域交流室」を活用した地域住民・団体との活動が生まれた ・ 「中世の食」再現や益田の歴史の学習、盛り付け体験を実施 ○ 明誠高校： <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まちと食卓」作成部数：1,500 部

	<ul style="list-style-type: none"> ・来ぶらりマルシェ、益田産業祭でブース出展をし、「まちと食卓」を配布した。(各約 10 名の県外生が参加)
今後の事業展開	<p>①事業を市外・県外の大学生に PR し、本市でのフィールドワークを通じ、地域の活性化につなげる。</p> <p>②・京都府立清明高等学校修学旅行の受入れ予定 (令和 2 年 11/26～27 約 50 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行受入可能事業者の発掘・受入体制のブラッシュアップ、近隣自治体とも連携した勧誘に向けた営業開始 ・江津市に開校予定の日本語学校へのタイからの留学予定者等を対象とした江津市での留学体験プログラムへの参加者に対する、益田市での「ひと旅体験」プログラム(上記体験型修学旅行プログラム)の提供を、令和元年度中に実施予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。今後も引き続き、タイからの語学留学生向けの教育体験プログラムを造成する。 <p>③私立高校の地域活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田東高校:「地域交流室」を活用した地域住民・団体との活動の充実の促進。 ・明誠高校:「まちと食卓」の活用のほか、キャリアサポート事業などの学校外活動の充実の促進。



修学旅行の就業体験(さんさん牧場)

3. 令和元年度の事業費実績

事業名	実績額
(1) ブックファースト事業	5,500,000 円
(2) 学校を核とした子育て充実事業	1,000,000 円
(3) 関係人口拡大事業	3,350,000 円
合計	9,850,000 円